

各種公式イベント等に出席

委員会視察

所属している厚生委員会の視察では、宇都宮市、高崎市、長野市を訪問し、それぞれ認知症事故救済事業、子育て・介護SOSサービス事業、ながのこども館「ながノビ!」について調査・視察を行いました。



中核市サミット(福井市)

会派メンバーと福井市で開催された中核市サミットに参加しました。全国の中核市の議員や行政関係者が一同に会し様々なテーマで議論しました。



日台交流サミット



秋田市河辺市民サービスセンター
リニューアルオープン

秋田市
「二十歳(はたち)のつどい」



勝平地区の
敬老の日イベント

秋田商業高校・
秋田公立美術大学
附属高等学院の入学式



お困りごと 秋田市へのご提案 お聞かせください。

おひとりでも構いません。お呼びください。

ご近所やサークルの集まり、ランチミーティングなど、ちょっと話を聞いてみたい、あるいは市に相談したい、意見を言いたい、何かがありましたらお気軽にご連絡ください。

議会見学に来ませんか？

本会議や委員会はどなたでも傍聴できます。事前申し込みは不要ですが、もし不安であればお気軽にご連絡ください、ご案内いたします。また、閉会中も議場や会派控室、議会図書館などご覧いただけます。ぜひ気軽にお声がけください。

なんでもお気軽にご相談ください。

市政のことはもちろん、これは市の管轄かな？と悩むものも、お気軽にご相談ください。EメールやSNSのDMでもどうぞ。



写真左から、若松尚利議員、小松健議員、藤井賢議員、菊地格夫議員

秋田市議会会派

市政に新しい息吹を。多くの声を地域のカタチに創り上げていく。

みなさんの声を聞かせてください。

[HP] <https://sowsay.jp/>

(菊地会長) 070-2650-3943 E-mail info@kikuchi-tadao.com



代表質問 特集号

詳細は中面へ▶

SNSで情報発信中!



秋田市議会議員

キクチタダオ 菊地 格夫

2月議会トピック

1 代表質問を行いました

代表質問は、一般質問と違い、市政全般に対しての大きな視点の質問が中心になります。新しく市長になられた沼谷市長への政治姿勢、これからの市政運営について、新年度当初予算案と財政運営、防災、観光政策など、本市がめざす将来都市像の実現のために必要な施策を中心に広く質問しました。会派の代表質問をして3回目です。やっとなれたのか、再質問の際にも少し気持ちの余裕がありました。

予測が困難で変化の激しい時代において、市政運営の視点での持続可能な財政基盤の確立が重要になると考えます。

2 いくつかの提案に前向きな回答が得られました

今回の代表質問では、いくつか提案をしています。それらに対して、前向きな回答をいただきました。

Q 千秋公園に、生物多様性や自然に親しむ視点に立った案内表示を園内に設置してはどうか

→生物多様性の視点に立った情報発信は、自然に関心を持つ新たな層の誘客にも寄与するものと捉え、今後は、既存の案内板を活用したQRコードによる植生紹介など、千秋公園が有する潜在的な魅力発信にも努めてまいります。

Q 業務への高度な活用に生成AIの活用を考えるとどうか

→様々な分野で組織的に活用する仕組みを整備するとともに、政策立案やデータ解析等の高度な活用を図るため、最新版生成AIのトライアルを行い、導入を検討し、さらなる業務効率化と、市民サービスの向上、そして組織全体としての政策形成力の強化につなげてまいります。

2025年度トピック

超党派の公共交通研究会で、南相馬市の都市型自走式ロープウェイ「Zipper」を視察に行き、関係者へのヒアリングおよび実証実験の展示物を見て説明を受けました。Zipperの性能や設置・運用コストや災害時対応など、様々な質問ができました。

また、大阪府の2025大阪・関西万博の会場で行われた公益社団法人2025年日本国際博覧会協会が主催する自治体職員・議員向けの研修に参加しました。万博における世界の展示方法は地域の観光に役立てられる内容でした。



秋田市議会から超党派の公共交通研究会の8人が参加しました



Zipperのプラットフォーム



自動運転するZipper車体



関係者へのヒアリング



大阪・関西万博の会場での会議

令和8年2月議会 代表質問 (抜粋)

令和8年(2026年)2月24日(火)に代表質問を行いました。
内容は、以下のとおりです。



1 市長の政治姿勢について

Q 「プラスの循環」社会を実現し、市民福祉の向上と市勢発展を図るためのリーダーシップをどのように発揮していくのか

A 市長 答弁
私は、市政推進に当たり、多様性と寛容性、対話と共感を大切にしながら、市民・企業・市職員など様々な立場の人たちの関わりのもと、その強みや個性を引き出すことで、新たな価値や本市の未来をともににつくっていきたくており、こうした、周囲を巻き込み、調和を図りながら物事を前に進める姿勢が、私が目指すリーダーシップの一つの形であります。

2 財政運営について

Q 本市の財政構造上の課題を、財政危機管理の視点からどのように捉えているのか、また、その課題意識は令和8年度予算編成においてどのように生かされているのか

A 市長 答弁
本市の財政構造は、近年の物価高騰や賃金水準の上昇、さらには金利上昇などの外的要因により、歳出の大半を占める人件費、措置費および公債費といった義務的経費や経常経費が年々増加し、義務的経費比率の増や財政硬直化が進行していることから、それらの抑制が課題となっております。

そのため、8年度予算については、投資的経費の規模を精査したことで、市債発行額を前年度から約29億円抑制し、将来の公債費負担の軽減に意を用いて編成いたしました。また、既存事業の見直しにより歳出の抑制と新規・拡充事業の財源捻出に努めたことで、基金に依存しない財政運営へ転換を図った予算としたところであります。



代表質問全文は
こちら

3 観光政策について

Q 観光マーケティングを効果的に推進する観点から、生成AI等を活用し、SNS等による多言語の情報発信を行う考えはないか

A 市長 答弁
今後インバウンドへの対応・対策の必要性はますます重要となることから、SNS等で情報発信を行う際には、閲覧者による翻訳機能の使用を前提とした日本語での投稿を基本としつつ、生成AI等を活用した多言語での情報発信も行っております。

4 熊対策について

Q 今春からの熊対策にどのように取り組んでいくのか

A 市長 答弁
4月から採用を予定しているガバメントハンターを中心とした出動・捕獲体制を構築することとしており、活動に必要な装備の充実や、本市独自に麻酔薬を用いた捕獲ができる環境を整備するほか、引き続き、緩衝帯の整備や誘引果樹の伐採費補助などについても取り組んでまいります。

Q 県の第二種特定鳥獣管理計画において推進することとされているゾーニング管理について、市としてどのように管理強化ゾーンを設定し、どう取り組んでいくのか

A 市長 答弁
管理強化ゾーンについては、これまでの目撃情報や捕獲実績、人身被害の発生箇所、猟友会からの情報などを踏まえ、人の生活圏の外側、概ね2キロメートルに設定することとしており、熊が冬眠から目覚め、活動を始める時期に、猟友会との連携のもと銃器を用いた捕獲活動や箱わなの増設により捕獲圧を高め、生活圏への出没抑制を図り、住民の安全確保に努めてまいります。

5 子ども政策について

Q (仮称)秋田市子ども計画の策定に当たり、本市の現状や課題をどのように反映させたのか

A 市長 答弁
アンケートから抽出した現状や課題を反映させ、妊娠前から妊娠期、出産、幼児期など、ライフステージに応じた切れ目ない支援の充実を図るとともに、子育てや教育に関する経済的負担のさらなる軽減など、子育て当事者が安心して子育てできる環境づくりを推進することとしております。

6 本市における再生可能エネルギー施策の展望について

Q 北部地区再生可能エネルギー工業団地について、どのような企業の誘致を目指しているのか

A 市長 答弁
国が創設した「GX戦略地域」のうち、「データセンター集積型」および「脱炭素電源活用型」の2類型に応募したところであり、GXの推進に不可欠なデータセンターや再エネ電源を必要とする製造業、通信・情報サービス業、運輸業などを中心に誘致を目指したいと考えております。

Q 新屋浜の風車ブレード落下事故について、市民の安全安心を確保するために今後どのように対応していくのか

A 市長 答弁
事故が再び発生することのないよう、今後、事業者に対し、法令に基づく安全基準を遵守した設備の維持管理の徹底に加え、同基準が見直された際の適切かつ確実な対応を求めてまいります。

さらに、今年度改訂する「秋田市新エネルギービジョン」に、本市の対応策を反映させることとしており、必要に応じて本市独自のガイドラインの制定を検討するとともに、発電設備の保守・管理状況を適時確認するなど、市民の安全安心の確保に向けて取り組んでまいります。

キクチタダオ

活動報告

全国市議会議長会研究フォーラム(札幌市)

札幌市で行われた全国市議会議長会研究フォーラムに参加しました。全国の市議会議員や行政関係者が一同に会し、市議会における問題等について基調講演やパネルディスカッションが行われ、非常に興味深い議論が重ねられました。



先進的な公共施設の視察(札幌市及び近郊)



札幌市文化芸術劇場hitaru



札幌市中央区役所、下水熱をヒートポンプで空調に利用



エア・ウォーター水素ステーション札幌大通東



札幌市モエレ沼公園、施設内の冷房システムに貯蓄した雪を使用



南幌町 子ども室内遊戯施設「はれっば」



南幌町「はれっば」公民連携DBO方式(設計・建設・運営を一体で民間委託)を採用